もっとスポーツを！！いつでも、どこでも、誰でもできる

歩くスキー

会　長　メ　ッ　セ　ー　ジ

広報活動の強化で協会運営の充実を

ＮＰＯ法人　北海道歩くスキー協会　会長　浜島　泉

当協会の会報は平成 25 年 10 月 1 日に発行され、定期発行ではないものの、平成 27 年 12 月には第 8 号を発行しました。この間、平成 26 年 11 月には、協会創立 40 周年記念事業を行い、記念誌を発行しました。会報および記念誌の発行に関しては、責任者を決め、取材から、編集、発行まで、取り組みを進めることで、力量のアップも図ってきました。

このように、協会は、広報活動を強化することで、スキー技術の普及だけでなく、協会の理念である、スポーツの振興、安全、マナー、環境保護にも努力する姿勢をアピールしております。支援してくださっている方々への対外的公開の手段であるとともに、会員･役員の結束の要になることも図ってきました。今後は、会員の意見や実践活動報告の交流も目指したいと考えております。ご批判も充分取り入れて、協会の運営の幅を広げることをお約束します。

協　会　ニ　ュ　ー　ス

私の本「私のシュプールⅠ」について
―ハガスキーの歴史と私の登山―

ＮＰＯ法人　北海道歩くスキー協会　理事　芳賀孝郎

今年８２歳を迎えるのを機会に、自分の人生を振り返って見ることにした。

即ち自分のシュプールを辿ってみた。その記録を「私のシュプール」にまとめ出版した。その内容は下記の通りである。

一つは私の家は、７４年間存続した日本の老舗スキーメーカーであり、そのハガスキーの誕生物語と戦前の単板スキー時代を記載した。次に戦後の合板スキーからグラス・メタルスキー時代、札幌オリンピック後の欧米スキーとの競争時代を述べた。スキー産業も本格的国際競争の時代となり欧米の輸入スキーとの競争に負け、日本スキーメーカーが倒産・廃業に追われた。ハガスキーの終焉の経過を述べた。私はスキーメーカーの社長としての経営の反省を残した。

二つは私の学生時代の山岳部とヒマラヤ遠征、その後の登山記録である。槍・穂高と劔・立山の北アルプスでの活動記録を記載した。その時仲間４人が雪崩で遭難した。私は遭難を免れたが私の登山活動は挫折しかかった。運よく１９５８年ヒマラヤ遠征隊のメンバーに選抜された。その後も登山活動は続き、その間多くの先輩の指導と良き仲間に恵まれた。山の仲間ばかりではなく、その後の仕事の世界でも良い出会いがあり、今日に至った。多くの転倒を残した私

のシュプールをご一読いただければ幸甚である。

（※※　尚、編集協力・出版元、協会 40 周年記念誌でのエピソードなど詳しくは本紙４頁をご覧ください　※※）

協　会　ニ　ュ　ー　ス

平成２７年度冬季事業の紹介（総集編）

（ホームページ：h-arukuski.sakura.ne.jp も併せてご覧ください。）

●平成２７年度クロスカントリースキー講習会

（会員向け）H27.12.23（祝、火）参加人員：11 名

（受講者の皆さん）

例年に比べ雪が少ない滝野公園ですが、協会指導部の講師が午前はクラシカル、スケーティング走法の実技、午後はニッセンスポーツ尾崎さんによるワックス講習会を行いました。

●第３２回滝野公園歩くスキー大会・
第２回滝野公園クロスカントリースキー記録会

H28.1.11（月、祝）参加人員：307 名（10～84 歳）

（記録会 10ｋｍスタート）

江川さんのデモの後、歩くスキー大会と記録会が行われました。積雪５０ｃｍですが安全に整備されたコースで、気温が低いにも関わらず、日差しを浴び、快適な滑りを楽しんでいました。

●平成２７年度初めての歩くスキー“滝を見に行こう”

H28.1.16（～2.6）　各回定員：20 名

（記念写真）

今年はつどいの森特設コースで行いました。全員初めての方で小学１年生の女の子、生涯スポーツを志す７６歳の方、冬の札幌を楽しむアフリカ「モーリシャス共和国」出身の男性とメンバーも多彩でした。

●第３６回　障がい者歩くスキーの集い

H28.1.17（日）選手：141 名、伴走者：80 名

（１ｋｍスタート）

晴天の雪景色が清々しい新雪コース、連日の氷点下で氷瀑が大きくせり出し迫力満点の滝での記念写真撮影など、ゆったり楽しみながら滑走しました。最終走者は拍手とアーチで迎えられました。

●第 41 回　道民・札幌市民歩くスキーの集い

H28.1.24(日)　参加人員：201 名

（僕も完走）

快晴、無風状態で積雪が昨年の半分 67ｃｍですが参加選手は最高のスキー日和を楽しみました。お父さんの背負子で２歳前のお子さんも３ｋｍを完走しました。

西岡北中学校陸上部女子６人組が３ｋｍに挑戦、ゴール前は競っていましたが、ゴール後は仲良く記念撮影です。

来年は１０ｋｍにチャレンジします。　（来年も頑張ろう！）

●第３６回　札幌国際スキーマラソン

H28.2.7（日）参加人員：1,967 名（海外：59 名）

（２５ｋｍのスタート）

昨年から中国、アルゼンチン、ニュージーランド等が加盟し、世界 20 ヵ国、20 大会となった国際的なクロスカントリースキー大会です。快晴ですが冷え込みの厳しい中、幅広い年齢層の参加者が快走しました。

●第 37 回石狩浜歩くスキー＆かんじきウォーキングの集い

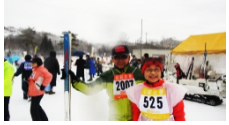
H28.2.7(日)　参加人員：41 名

（記念写真）

石狩浜は昨年同様、強風で雪が吹上げられ寒さの厳しい大会ですが、皆さん負けずに完走しました。その後、ライオンズクラブご好意の甘酒で温まり、番屋の湯の温泉とランチバイキングを頂きました。

●第２６回おおたき国際スキーマラソン

H28.2.14（日）　参加人員：619 名（海外：７名）



（雨にも負けずゴール）

無情にも大会初の雨、最終的に 355 名の出走でした。今回からスキーマラソンは 15ｋｍ、歩くスキーは７，５，３ｋｍの３種類となりました。雨の中、皆さんおおたきの雄大な自然林道を力走、完走後キノコ汁と温泉で温まりました。

●第３回スノーデュアスロン北海道２０１６

H28.2.14（日）　参加人員：13 名

（雨天のスタート）

雪の国際都市「札幌」が発祥の地のスノー自転車とクロスカントリースキーを組み合わせたタイムトライアルレースです。季節外れの雨で雪路面は大荒れ、でもスキーが滑りタイムは短縮しました。

●２０１６道新Ｊｒ歩くスキー教室ｉｎ中島公園

H28.2.21（日）　参加人員：午前 37 名、午後 15 名

（午後の部の参加者）

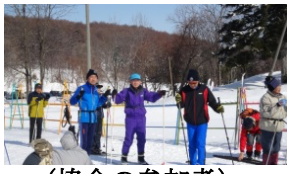
札幌市内・近郊の小学生を対象に全日本選手権出場経験のある田中誠さんと協会指導員による、「次世代の選手」を基礎から指導するジュニア教室です。

講習後のミニレースで
今年の「札幌国際スキー
マラソン」に出場した男
の子が１位のメダルを貰
い「うれしい」と笑顔いっぱいで話してくれました。

（ミニレース）

協 会 ニ ュ ー ス

●第１０回利根別原生林スキーハイキング
H28.3.5（土）参加：協会４名岩見沢スキー連盟 27 名
今回、協会は希望者のみの参加でした。例年になく晴天で、雪質も良く、斜面のコースで、スリルとスピードのある滑りを岩見沢スキー連盟の方々と楽しみ、甘酒を頂いた後、現地解散しました。


（協会の参加者）

●第２回北海道歩くスキー協会「歩くスキーの集い」
H28.3.13（日）　参加人員：86 名
シーズン最後ですが好天に恵まれ、整備されたコースも良く滑り、参加者の皆さんが満足の行く大会となりました。
第３回大会も是非ご参加下さい。

（１６ｋｍスタート）

●平成２７年度「春山スキーハイキング」
H28. 3.20(日)　参加人員 21 名
朝方の新雪の下、健脚組は中山（幌滝山）、ゆっくり組は蓬莱山を目指し、緩急のある斜面に挑戦しました。例年荒天で引き返していた念願の中山にも到達でき、帰りは定山渓温泉「湯の花」で温まりました。

（蓬莱山集合写真）

●オールカマースポーツクラブ歩くスキー教室
（総合型地域スポーツクラブ）
H28.1.16（土）参加人員：17 名
オールカマースポーツ倶楽部はラグビー、ヨガ、ランニングなどを実施するクラブ、冬のトレーニングの一環としてクロスカントリースキーを取り入れ体調の維持、向上を図っています。前田森林公園コースはクラシカル、スケーティングのコースがあり初心者、中級者が家族で楽しめます。

●もみじ台歩くスキークラブ歩くスキー教室
（もみじ台地区歩くスキーを楽しむ会）
H28.1.23（土），30（土）
参加人員：1.23 日(42 名）1.30 日(28 名)
もみじ台南中学校グラウンドのコースを利用し、一周３００ｍおよび８０ｍコース４レーンの整備を行い、スキー教室としてクラシカル走法の説明に引き続き、約一時間半に亘り歩くスキーの実技を指導しました。

●第３４回蘭越ニセコ連峰歩くスキー大会
（締め切りました。）

成２８年４月３日（日）
越町チセヌプリスキー場ほか
種目：５・１０・１５・３０ｋｍ

●札幌市郊外ウォーキング（概要）のご案内
（現在下記内容で検討中です。４月中旬に申込書を発送致します。しばらくお待ちください。）

・期日：Ｈ２８年５月１５日（日）
・場所：北区拓北からトンネウス沼、あいの里
（街中の緑道を歩き、茨戸川周辺を巡る）
・会費：正会員・一般会員　３，０００円以内

・内容：
イ．ＪＲ拓北駅前集合
ロ．街中から緑の遊歩道を歩きトンネウス沼周辺に至る。あいの里住宅地をたどりあいの里駅前に出る。更に「なごみ温泉」に入浴後解散。
ハ．距離７．５ｋｍ+α（駅から温泉まで）
ニ．途中ペケレット沼（私有地）、茨戸川緑地、仙人庚申塚、藍栽培ゆかりの地領特碑を訪ねる。

（ペケレット沼の全景）

ホ．トンネウス沼はアジア糸トンボの生息している自然が残る。

（トンネウス沼糸トンボ生息地の表示）

問合せ先・申込み先：
ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会事務局

申込期限：４月中旬に申込書を発送します。
電話：011-747-1505
メール：h_arukusuki@yahoo.co.jp

会　員　の　広　場

（氏名，年齢、性別、連絡先を明記願います。）

●「私のシュプールⅠ―ハガスキーの歴史と私の登山―」発行の紹介

当協会理事、芳賀孝郎氏の著書「私のシュプールⅠ―ハガスキーの歴史と私の登山―」が発行されました。

・著者：芳賀孝郎　・カバー装画・挿絵：芳賀淳子（奥様）　・発行：２０１６(平成２８)年１月３０日

・編集協力：北海道新聞社事業局出版センター（http://shop.hokkaido-np.co.jp/book/abouts/）

〒060-8711 北海道札幌市中央区大通西３丁目６番地 電話番号 011-210-5744

著書の表紙に掲載されております挿絵ならびに３４ページの花の絵は当協会４０周年記念誌（2015 年 11 月発行）の１２ページ、６１ページにそれぞれ提供戴き、掲載されています。

芳賀理事は認定ＮＰＯ法人取得を目指す当協会の財政基盤強化に精力的に取り組まれておりますことを会員の皆様にご報告いたしますとともに、芳賀孝郎理事にあらためて感謝を申し上げます。

●*ｏｎｔｏｎａ*（２０１６年２月１７日号（１２））記事の紹介

ｏｎｔｏｎａ（２０１６年２月１７日号（１２））に「冬でも外で体を動かそう！身近なところで気軽にできる“歩くスキー”」と「道具のレンタルがある“歩くスキー”のコース」が掲載されています。“歩くスキー”をオントナスタッフが体験してきた記事です。“歩くスキーは”冬の運動不足解消にはぴったりのスポーツとして紹介されています。是非会員の皆様もご一読いただき、運動不足の方がいましたら紹介して頂きたいと思います。

問合せ先：(株)道新サービスセンター　オントナ事業部　TEL：011-642-7701
(http://www.doshin-sc.co.jp/freepaper.html)

（事務局からのお知らせ）

〇会員募集のお知らせ

ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会では広く会員（年会費 2,000 円）を募集しています。

夏季はウォーキング等、冬季はクロスカントリースキー講習会、春山歩くスキーハイキング等を実施しています。当協会は、広く一般の人々に対して歩くスキーに親しむ機会を提供するとともに、歩くスキーの指導者の育成及び環境保全の普及に関する事業等を行い、生涯スポーツとしての歩くスキーの普及と、市民の健康増進に寄与することを目的とする団体です。

入会ご希望の方は事務局にお問い合わせください。「会員入会申込書」は事務局よりお送りするか、またはホームページ(URL:h-arukuski.sakura.ne.jp)の会員募集要項に掲載していますので必要事項を記入頂き、「ＦＡＸまたは郵送」で事務局にお送りください。

（寄付者の名簿）

下記の方からご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

〇寄付金

・平成２７年１２月１日　エイジススタッフサービス（株）様

・平成２７年１２月１４日　エイジス九州（株）様

●はじめての人でも「歩くスキーを楽しめる本」

歩くスキーを初めての方にもわかりやすく解説している本です。

定価　８４０円　事務局に有ります（書店には有りません）。

NPO法人　北海道歩くスキー協会事務局
〒060-0808 札幌市北区北8西3丁目28番　札幌エルプラザ2階
TEL, FAX：（011）－747－1505
受付日：火、水、金、土曜日
受付時間：10時00分～17時00分
ホームページ　：　h-arukuski.sakura.ne.jp
メール　：　h_arukuski@yahoo.co.jp
郵便為替、口座記号番号：02740－8－100335　北海道歩くスキー協会